

## (7) 他教科と連携した授業実践（平成 29 年度の実践）

## 中学校第 3 学年 社会科学習指導案

## 1 単元名 消費生活と経済（東京書籍 pp. 120～127）

## 2 単元について

- 本単元は、中学校学習指導要領解説社会編の公民的分野(2)「私たちと経済」の「ア市場の働きと経済」を取り上げたものである。この単元においては経済活動の意義について消費生活を中心に理解することで自立した消費者を目指すことが大切であるとされている。また、本単元は身近な消費活動を基に、消費者の権利、契約、消費者問題、流通の役割について理解し、自分の日常生活と経済との関係に気付く、生徒にとっては身近な学習課題を設定することができる単元である。よって、生徒自身の生活に関わる事柄から学習課題を見だし、調査活動や話し合いを重ねる中で、経済活動の意義をつかみ、主体的な消費者としての態度を身に付けることが可能となる。
- 本学級の生徒は活発な生徒が多く、授業中も発言がよく見られる。4月に実施したNRT（標準学力検査）によると、全体的に全国平均を下回ってはいるものの、昨年度よりも基礎的知識の点で改善が見られ、知識の活用に課題があることが分かった。そこで、資料などから得られた知識や方法を活用して考察し、自分の考えをまとめる力が必要であると考えた。「私たちと経済」の学習にも積極的に取り組んではいるが、経済の用語や事象について生徒たちは漠然と知っている程度である。事前アンケートでは、スーパーマーケットやコンビニエンスストアを中心とした消費行動をしている生徒が約 90%であった。お菓子をオンラインショッピングで購入すると回答した生徒はいなかったが、インターネットを利用したオンラインショッピングには関心が高い。近い将来、経済活動と深く関わっていく生徒たちに、経済活動への興味・関心を高め、正しい知識や判断力を身に付けさせたい。
- 指導に当たっては、実際の商品を扱うことで興味をもたせ、経済に親しみをもたせるようにする。実際の商品情報を読み取り、流通経路などの情報と併せて購入を考察することで自らの消費行動が市民社会の構築につながることを理解させ、主体的な消費者となる態度を養いたい。さらに、食育と関連させた授業展開を計画しており、技術・家庭科家庭分野担当教員とのティーム・ティーチングを通して健康面からの商品選択の視点をもたせ、多面的に思考し判断する力を養いたいと考えている。

## 3 単元の目標

- (1) 身近な消費生活から経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について関心をもたせる。
- (2) 消費生活や流通に関する事例を基に、経済活動における選択や、消費者の権利と自立、流通の役割について多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現させる。
- (3) 消費生活に関する課題や消費者問題について、資料の情報を適切に選択し読み取ったり、まとめたりさせる。
- (4) 経済活動の意義や消費者問題、消費者の権利と契約、流通の役割について理解させ、その知識を身に付けさせる。

## 4 単元における食育の視点

- ・正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性について自ら判断できる能力を身に付けさせる。  
【食品を選択する能力】
- ・消費者の行動は、自分だけでなく商品を生産する地球の裏側の人たちや社会全体に影響を与えていることに気づき、主体的に商品を購入しようとする態度を養う。  
【食品を選択する能力】

## 5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度【関】	社会的な 思考・判断・表現【思】	資料活用の 技能【技】	社会的事象についての 知識・理解【知】
・身近な消費生活から経済活動に関する諸問題に着目し、個人の経済活動について関心を持つようとする。	・消費生活や流通に関する事例を基に、経済活動における選択や、消費者の権利と自立、流通の役割について多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現している。	・消費生活に関する課題や消費者問題について、事例や統計資料を収集・選択し、読み取るとともに、その解決策について自分の考えをまとめている。	・経済活動の意義や消費者問題、消費者の権利と契約、流通の役割について理解し、その知識を身に付けている。

## 6 指導と評価の計画（全 4 時間）

過程	主な学習活動	教師の指導・支援	評価（・）評価の観点【】	時配
つかむ	○消費活動とはどのようなものかを知る。	○電子黒板を活用して、身近な経済活動と商品を提示することで、経済に対する関心を高めさせ、よりよい消費生活の在り方について考えさせる。	・将来の家計の支出の予測や改善について話し合う中で、消費生活を向上させようとしている。 【関】	1
調べる	○「効率よく商品を手に入れるためにはどのような手段があるかを探る～チョコレート入手経路を探ろう～」の学習課題について調べる。	○流通の役割や流通の合理化の取り組みについて、ワークシートを活用して生産者と消費者の立場から多面的・多角的に考察させる。	・消費生活に関する課題や消費者問題について、事例や統計資料を収集・選択し、読み取るとともに、その解決策について自分の考えをまとめている。 【技】	1
考え・まとめる	○「商品を選択しよう～よりよい社会を築くために、どのようにチョコレートを選択すればよいのだろうか？～」の学習課題について、選択した資料を根拠にしてまとめる。	○電子黒板を活用して、チョコレートの流通の仕組みの概要を提示する。 ○机間指導しながら、資料の読み取りができていない生徒に支援する。 ○一人一人の消費行動が消費者市民社会の実現につながることを、複数の資料を関連付けてまとめさせる。	・複数の資料から読み取った情報を基に、チョコレートを選択する理由を多面的・多角的に考え、その過程や結果を適切に表現している。 【思】	1 (本時3/4)
	○安全な消費活動のために必要なことは何かを考える。	○消費者の権利や消費者行政の役割について理解させる。	・消費者の権利や消費者行政の役割について理解し、その知識を身に付けている。 【知】	1

## 7 本時の目標

複数の資料から読み取った情報を基に、チョコレートを選択する理由を多面的・多角的に考え、自分の考えを表現することができる。  
【社会的な思考・判断・表現】

## 8 本時の展開

学 習 活 動	教師の働き掛け（○）と評価【】
<p>1 前時までの学習を復習する。</p> <p>2 5種類のチョコレートを提示し、自分ならどれを選ぶか考え、理由も記入する（1回目）。</p>	<p>○電子黒板を活用して、チョコレートの流通の仕組みの概要を提示し、原料がどこから運ばれ、どのような過程で私たちの手元に届くのかを確認させる。（T1）</p> <p>○背後に「児童労働」、「環境破壊」、「貧困」などの問題があることを振り返らせる。（T1）</p> <p>○チョコレートの購入に関する事前アンケートを提示し、自分の意見との相違点を見付けるよう促す。（T1）</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           商品を選択しよう            ～よりよい社会を築くために、どのようにチョコレートを選択すればよいのだろうか？         </div>	
<p>3 購入する商品に関して必要な情報は、どこから入手できるかを考え、資料の読み取りを行う。</p> <p>4 5種類のチョコレートのうち、自分ならどれを選ぶか、考えて記入する（2回目）。</p> <p>5 それぞれの条件を満たすためには、5種類のチョコレートのうち、どれを選べばよいかを考え、理由も記入する。</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のため ・友達のため</li> <li>・親のため ・環境のため</li> </ul>	<p>○机間指導しながら、考察できない生徒については食品表示から分かる情報を読み取るよう指示をする。（T1・T2）</p> <p>○原材料、原産国、内容量などについて、技術・家庭科家庭分野の視点から健康面についての説明や、チョコレートの原料であるカカオの栽培についても補足する。（T2）</p> <p>○選んだものが1回目と変わった生徒に理由を発表させる。（T1）</p> <p>○まず個人で考えさせ、その後グループで意見を交流させて、1つに絞らせる。（T1）</p> <p>○グループの代表者に発表させる。（T1）</p>
<p>6 よりよい社会をつくるためのチョコレートの選び方についてまとめる。</p>	<p>○社会貢献だけがよりよい社会を築くことにつながるのではないことや、条件で選ぶ基準があることを指摘する。（T1）</p> <p>複数の資料から読み取った情報を基に、チョコレートを選択する理由を多面的・多角的に考え、自分の考えを表現している。 【思】</p>
<p>7 今後、商品を選択するときに意識したいことをまとめ、発表する。</p>	<p>○チョコレートだけではなく、他の商品でも同じことが言えること、一人一人の消費行動が消費者市民社会の実現につながることをまとめる。（T1）</p>

## 9 本時の評価

評価規準	複数の資料から読み取った情報を基に、チョコレートを選択する理由を多面的・多角的に考え、自分の考えを表現している。 【社会的な思考・判断・表現】		
判断する目安 (判定基準)	十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)
	資料を関連付けて、多面的・多角的に考察し、自分なりの考えを表現している。	資料を基に、自分なりの考えを表現している。	(B)に達していない状況
→(B)、(C)と判断した生徒への支援		資料の補足説明をして、多面的・多角的に考察できるように支援する。	資料を基に問い掛けを行い、資料の読み取りを支援する。
評価方法	ワークシートの記述、発言の内容		